

山中野球部員の行動に感動

県中学校新人軟式野球大会では、山田中学校が準決勝で惜しくも敗れたものの、試合のほかにとってもいいことがありましたので、その報告とお礼を申し上げたいと思います。

準決勝に出場するため山田中の選手は早々と球場に集まり、レギュラー陣はグラウンドで練習を始めました。控えの選手と思われる4人が「ほうきを貸してください」と言って事務室にきました。何をするのか聞きましたら、落ち葉を掃くということです。ほうきを持った生徒がスタンド周りの掃除を始めたところ、そのほかの生徒も次々に集まってきて、ほうきとごみ袋を持って掃除を始めました。スタンドの中は前日から大会が開催されており、落ち葉やお客さんが残っていたごみが残っていました。およそ30分後、集めたごみを袋いっぱい詰めて、「終わりました」と言って事務室にきました。「ありがとう、ご苦労さん」と言って帰りましたが、生徒たちは何事もなかったかのように三塁側スタンド最前列に陣取って、応援を始めました。

多くの学校がこの野球場を利用します。利用後に掃除をしていくのは当然のこととしても、試合開始前に掃除するのは、わたしがこの球場に勤務するようになって初めての出来事でしたのでとても感動しました。山田中の先生方の日常の生徒指導の一端をうかがい知ることができたと同時に、このことを多くの人に知らせる方法がないものかと考えております。

試合は準決勝で敗れましたが、今大会の総合優勝は山田中学校であったのかもしれませんが、これからのご活躍を期待しております。

岩手県営野球場長 佐々木 翼

イラスト



わけて競技に励み、日々心身とものびのびとはぐくんできて生活していることを実感。とてもかわいらしかったので、ただただ拍手を送った。時々黄葉も園児と競うようにくるくる回りながら競技場に入ってくる。重ねて私の幼少時代、母親との畑への行き帰りの道路脇にあった「明治二十九年津波記念碑」が一休みの場。母は必ず手を合わせる。「見よう見まね」で手を合わせることを覚えた。年月が流れても今でも心の中に生きている。幼少のころの思い出をよみがえらせ、いつも楽し

飲酒運転の根絶に協力を
九月二十一日から三十日まで行われた「秋の全国交通安全運動」は大過なく終了しましたが、手放しでは喜べない事態です。いかに規制と罰則が厳しくなっても依然としてなくなるのが飲酒運転による事故です。最近テレビなどで福岡県の幼い三兄弟の生命を奪ったニュースをはじめ、連日飲酒運転の報道が

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

山田の皆さまこんにちは。東京では秋の献血運動が始まり、九月十五日には銀座で日赤のスタッフ、県連の方々の中に「ふる里山田同郷の会」会員も参加させていただきました。午前十時から午後四時までで四十八人のご協力があり、感謝の一日でした。また、在京四十三年になります、その中で足立区のボランティア団体「更生保護女性

古里への便り⑧



ふる里山田同郷の会幹事 東京都足立区

粒良勝子さん(68歳)
〔中央町出身・旧姓佐藤〕

部」のお手伝いを通して、いろいろな講演会に出席させていただきました。その講演の一つは、若いお母さんたちにお聞きしたい内容でした。

それは筑波大学の先生の講演で、先生が「人間と動物の母乳の成分は同じだと思いますか?」と会場の皆さんに挙手を取り、私も含め九六%が「同じ」と答えました。ところが先生の答えには眠気も吹っ飛びました。「動物の母乳は運動発達優先の成分であり、人間の母乳は頭脳発達優先の成分である」とのこと。確かに野

生の弱肉強食の世界では一秒でも早く動かなければならない現実があると思いますが、人間はその必要がない代わりに思っているより早い時期の「脳」の発達を意味していると思いませんか。デイスカッションの中では、「三つ子の魂百までは昔」で、現在は早期に移行していると思う」という意見が多数でした。また、私の元気の源は育った所の食材をいただくことです。スーパーでも三陸産、岩手産を最優先に買います。元気の源をつくってくださっている皆さまのご健康を心よりお祈り致しております。山田の皆さまお元気でお過ごしください。

されています。

運動期間中には、警察署や関係団体が道の駅やまだ駐車場などで交通安全キャンペーン運動などを展開しましたが、このような活動ではもはや限界の域を超えているのではないのでしょうか?好きな酒、楽しいはずの飲み会が自制を失った行為で最悪の結末を引き起こし、加害者、被害者双方の家庭を崩壊させます。飲酒運転は凶悪犯罪です。軽い一杯が重い代償になりますので「飲酒運転は絶対にならない、させない」を合言葉に町内のす

心に残る保育園の運動会

西館隆(船越・?歳)

さわやかな秋晴れの下、織笠保育園の運動会に歩を向かせた。園庭は競技場になり、万国旗が仲良く手をつないで青空にはためいていた。が、ふと「今日もどこかで戦いが」と頭をよぎった。つかの間、好きな曲「聖者の行進」が流れ、興奮に包まれた。園児たちは先生方と息を合

花の苗を保育施設に寄贈

菊地サカエ(織笠・71歳)

ませてくださる諸先生方、保護者の皆さま、ありがとうございました。

山田BBS会では、五月に開催した映画「待合室」山田上映会の益金で購入した花の苗二百四十株を山田町第一保育所、さくら幼稚園、豊間根保育園の三施設に寄贈しました。十月十六日には山田町第一保育所でプラントナーへの植え付けが行われ、園児五十六人が元気いっぱい作業に取り組みました。保育園前に飾られた色とりどりの花が園児や保護者、通行人の目を惹きつけています。山田BBS会の活動にご協力くださった方々大変ありがとうございました。山田BBS会会長 川石陸

初めて見る学園祭に感動

足早に深み行く秋の先月十五日、旧マリンパーク山田駐車場

で、町民祭伝大会と「はまなす学園祭」が好天の下で開かれ、多くの町民でにぎわいを見せた。学園祭を見るのは初めてだったが、町長の祝辞に次いでの出し物は感動の連続だった。入園生たちの越中おわらの舞いにはつい涙にむせて仕方なかった。十五人余によるお茶まんぼの踊りも見応えがあり、一人一人の澄んだ瞳の輝きがとても印象的だった。また山高吹奏楽部によるドリフのズンドコ節などメドレー曲が会場を盛り上げた。出演した皆さんから感動をいただき、そして学園生みんなの幸せを祈りつつ帰途についた。齋藤忠雄(船越・81歳)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

ベットから

妻をかかえてトイレまで連れて行く日がいままで続く

菊地孝進(船越・84歳)

グリーンツーリズム

人は来ないで熊が来る

佐藤兼男(荒川・79歳)

今日も又

押して坐って老人車

育てた海をながめて帰る

大川ヒメ子(大沢・?歳)